

平成20年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	6. 商工費	事業名	4. 商店街にぎわい創出事業費		
項	1. 商工費	細事業名			
目	2. 商工振興費	担当課係	商工観光課	(執行課: 商工観光課)	

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位: 千円)		
	(歳入)	(歳出)	財源内訳										一般財源
要求額	0	6,300	要 求										6,300
決定額			決 定										

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施策	創造性と活力にみちたまちづくり / 商工業の振興による活気あるまちづくり / 商店会等が開催する商店街活性化						
	【商店街活性化イベントへの支援に関する業務】	施策体系コード	04-02-01-20-10			事業番号	129-1		
	商店街活性化のために商店街等が開催するイベントに対して、補助金の交付やPRを通じて支援を行います。	総事業費	35,700千円			事業期間	平成18年度～平成22年度		
		年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度		
		8,400	8,400	6,300	6,300	6,300			

(事業実施に関する根拠法令)
佐倉市商店街活性化事業補助金交付要綱

<事業に関する説明>		
(事業の説明) 地区商店街連絡協議会に対し、佐倉市の商工業の活性化のためのイベントの企画・運営に補助金を交付する。	(事業の目的) イベントの企画・運営を通じ、市内の商工業に市民の目を向けさせ、もって商工業の振興を図る。	(事業の効果) 大型店の進出等で、衰退しつつある市内中小売業をイベントの開催に対する補助金を交付することで、佐倉市の商工業の健全な発展が図られる。
(事業実施上の問題点) 地域の特徴や商店街独自の企画を活かして、地域に根付いたイベントにする。 また、イベントによる一過性の活性化で終わらず、恒常的な活性化に繋げたい。	(前年度からの見直し点) 平成19年度補助率6/10から平成20年度5/10としていることから、事業実施に当たっては、実施主体の負担割合を増加している。	(見積についての特記事項) 平成15年度までは、「商工まつり」等も開催されていたが、地域に根付くイベント継続を選択している。